

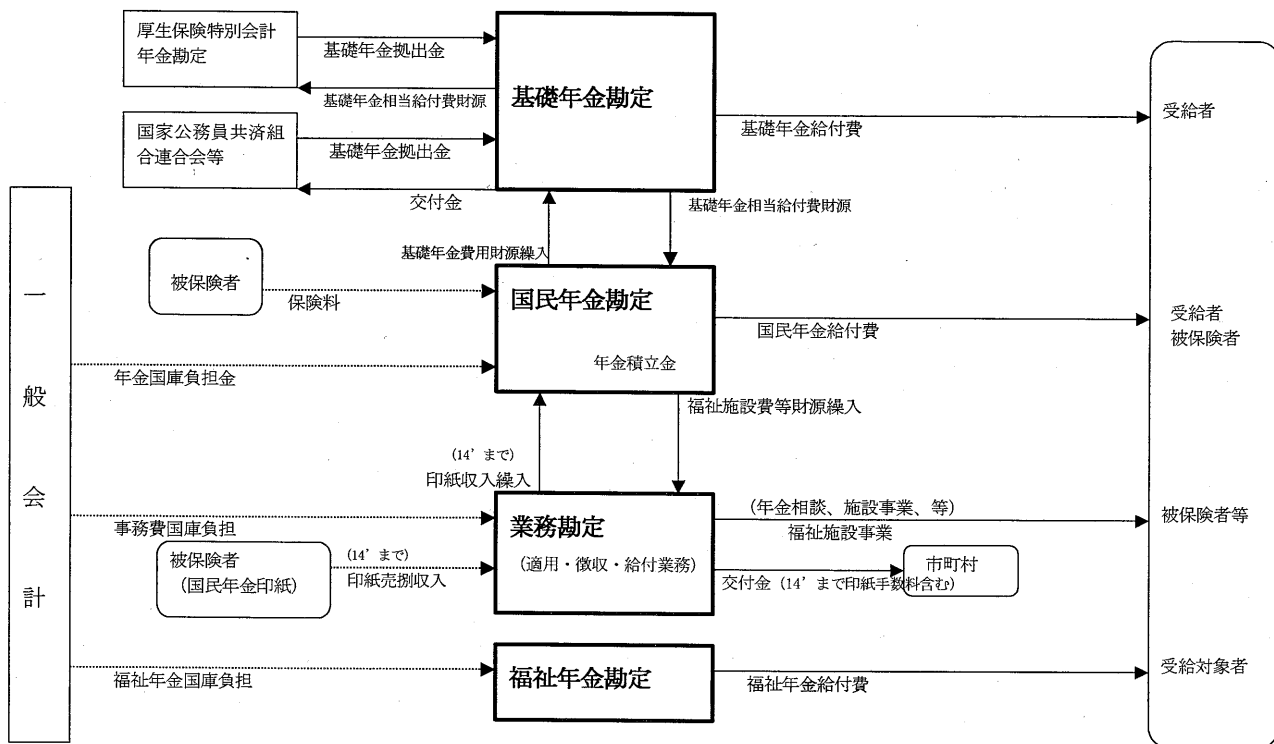
**国民年金特別会計(福祉年金勘定)**

**平成14年度省庁別財務書類**

## ◎ 福祉年金勘定

この勘定は、福祉年金事業の収支（業務勘定に係るものを除く。）を経理するもので、国庫負担金を財源として福祉年金の給付を行っている。

### ○国民年金特別会計の仕組み



貸借対照表

国民年金特別会計福祉年金勘定

(単位:百万円)

	前会計年度	本会計年度		前会計年度	本会計年度
	平成14年3月31日	平成15年3月31日		平成14年3月31日	平成15年3月31日
<資産の部>			<負債の部>		
現金・預金	14,023	6,843	未払金	13,790	6,700
未収金	28	25			
貸倒引当金	△ 12	△ 10			
			負債合計	13,790	6,700
			<資産・負債差額の部>		
			資産・負債差額	249	158
資産合計	14,039	6,858	負債及び資産・負債差額合計	14,039	6,858

## 業務費用計算書

国民年金特別会計福祉年金勘定

(単位:百万円)

	本会計年度
	自 平成14年4月1日
	至 平成15年3月31日
福祉年金給付費	31,967
その他の経費	0
貸倒引当金戻入額	△ 2
本年度業務費用合計	31,965

## 資産・負債差額増減計算書

国民年金特別会計福祉年金勘定

(単位:百万円)

	本会計年度 自 平成14年4月1日 至 平成15年3月31日
I 前年度末資産・負債差額	249
II 本年度業務費用合計	△ 31,965
III 財源	31,874
1 自己収入	113
その他の財源	113
2 他会計(勘定)からの受入	31,761
一般会計からの受入	31,761
IV 無償所管換等	—
V 資産評価差額	—
VI その他資産・負債差額の増減	—
VII 本年度末資産・負債差額	158

## 区分別収支計算書

国民年金特別会計福祉年金勘定

(単位:百万円)

	本会計年度 自 平成14年4月1日 至 平成15年3月31日
I 業務収支	
1 財源	
その他の収入	116
一般会計からの受入	31,761
前年度剰余金受入	14,023
財源合計	45,900
2 業務支出	
(1)業務支出(施設整備支出を除く)	
福祉年金給付	△ 39,057
その他の支出	△ 0
業務支出(施設整備支出を除く)合計	△ 39,057
業務支出合計	△ 39,057
業務収支	6,843
本年度収支	6,843
資金からの受入	—
資金への繰入	—
翌年度歳入繰入	6,843
収支に関する換算差額	—
資金本年度末残高	—
その他歳計外現金・預金本年度末残高	—
本年度末現金・預金残高	6,843

## 注記

### 1. 重要な会計方針

#### 1. 引当金の計上基準及び算定方法

##### ・貸倒引当金

返納金債権等の未収金については、過去の実績により算定して引当金を計上している。

#### 2. 出納整理期間

予算決算及び会計令第3条及び第4条により出納整理期間が設定されており、出納整理期間中の現金の受払い等を終了した後の計数をもって会計年度末の計数としている。

#### 3. 業務費用計算書における収益の計上

「貸倒引当金戻入額」において、貸倒引当金の戻入益（貸倒引当金減少額）2百万円が計上されている。

#### 4. 各財務書類における表示科目の説明

##### <貸借対照表>

- ・ 「現金・預金」には、当該年度末における支払元受高たる現金と決算剰余金と資金運用部に預託した預託金との合計額を計上している。
- ・ 「未収金」には、当該年度末における当該年度分、過年度分の雑収入等の未収額を計上している。
- ・ 「未払金」には、当該年度末における国民年金に係る2・3月分の未払金、及び年金給付費に係る未払額を計上している。

##### <業務費用計算書>

- ・ 「福祉年金給付費」には、福祉年金給付のため支出した額を計上している。
- ・ 「その他の経費」には、旅費、賠償償還及び払戻金等の経費を計上している。

- ・ 「貸倒引当金戻入額」には、債権の貸倒に伴う費用及び損失のうち当該年度の負担額を計上している。

#### <資産・負債差額増減計算書>

- ・ 「前年度末資産・負債差額」には、前年度貸借対照表における資産・負債差額を計上している。
- ・ 「本年度業務費用合計」には、業務費用計算書における本年度業務費用合計を計上している。
- ・ 「財源」には、自己収入と他会計からの受入の合計額を計上している。
- ・ 「自己収入」には、その他の財源を計上している。
- ・ 「その他の財源」には、雑収入に係る収入額を計上している。
- ・ 「他会計（勘定）からの受入」には、一般会計等からの受入額を計上している。
- ・ 「一般会計からの受入」には、国民年金法第 85 条、国民年金法等の一部を改正する法律附則 34 条の規定により、国庫から受け入れた国庫負担金に係る収入額を計上している。
- ・ 「本年度末資産・負債差額」には、前年度末資産・負債差額に本年度業務費用合計、財源、無償所管換等を加減した額を計上している。

#### <区分別収支計算書>

- ・ 「財源」には、自己収入と他会計からの受入の合計額を計上している。
- ・ 「その他の収入」には、雑収入に係る収入額を計上している。
- ・ 「一般会計からの受入」には、国民年金法第 85 条、国民年金法等の一部を改正する法律附則 34 条の規定により、国庫から受け入れた国庫負担金に係る収入額を計上している。
- ・ 「前年度剰余金受入」には、前年度決算上の剰余金の受入額を計上している。
- ・ 「福祉年金給付費」には、福祉年金給付のため支出した額を計上している。
- ・ 「その他の支出」には、旅費、賠償償還及び払戻金等の経費を計上している。

#### 5. 単位未満の計数の切り捨て及び 100 万円未満の計数の表示等

金額の単位は 100 万円単位とし、単位未満は切り捨てているため、合計は一致しないことがある。

100 万円未満の計数がある場合には「0」で表示し、該当計数が皆無の場合には「-」で表示している。



## 附属明細書

(単位：百万円)

### 1. 貸借対照表項目に関する明細

#### (1) 資産項目の明細

##### ① 未収金の明細

内容	相手先	本年度末残高
年金返納金	年金受給者等	25
合計		

#### (2) 負債項目の明細

##### ① 未払金の明細

内容	相手先	本年度末残高
2・3月分年金給付	受給者等	6,700
合計		6,700

### 2. 資産・負債差額増減計算書の内容に関する明細

#### (1) その他の財源の明細

款	項	金額
雑収入	雑収入	116
未収金の計上	未収金の計上	△3
合計		113

3. 区分別収支計算書の内容に関する明細

(1) その他の収入の明細

款	項	金額
雑収入	雑収入	116
合計		116